



平成 22 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社リロ・ホールディング
代表者名 代表取締役社長 中村 謙一
(コード：8876 東証第二部)
問合せ先 専務取締役 門田 康
(TEL03-5312-8704)

お客様情報の流出に関する対応策について

平成 22 年 9 月 22 日付「お客様情報の流出に関するお知らせ」でご案内申し上げております情報流出につきまして、改めて深くお詫び申し上げます。

弊社グループでは本件発覚後、外部専門家の助言を得ながら流出原因等の調査・究明と再発防止策の策定を進めてまいりましたので、その調査結果及び対策の概要等につき、下記のとおりご報告申し上げますと共に、本件に関する責任を明確化するために社内処分を行いましたので、併せてお知らせいたします。

弊社グループといたしましては、本件の教訓を活かし、二度とこのような事態が生じないよう再発防止策を講じ、さらなるセキュリティ体制の強化に努めてまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻を賜れば誠に幸いに存じます。

記

1. 流出原因の調査結果について

本件流出データに接触し得る関係者について、各種調査を実施した結果、IT 部門の退職者（以下「退職者 A」といいます。）が、本年 3 月に当該データを社外に持ち出し、同 8 月にファイル交換ネットワーク上にアップロードしたことが判明いたしました。

なお、これまでの調査では、退職者 A が社外に持ち出した弊社関連データは本件流出データ以外発見されておらず、また、持ち出された当該データは廃棄されていること、退職者 A は、当該データを上記ファイル交換ネットワークにアップロードしただけであり、名簿業者への販売その他の流出行為は一切行っていないことが確認されております。

2. 再発防止策について

弊社グループといたしましては、再発防止策として以下の諸施策を既に実施あるいは速やかに実施することを予定しております。

(1) 社宅管理システムのセキュリティ強化

- ①流出経路の遮断
- ②社宅管理システムのセキュリティ強化
- ③社宅管理システムのモニタリング強化

(2) 個人情報保護と不正防止のための取り組み

- ①リスクマネジメント組織の新設
- ②情報資産と業務フロー棚卸によるリスクの「見える」化
- ③ルールと承認プロセスの厳格化
- ④職務分掌とアクセス権の見直し
- ⑤積極的モニタリングによる不正の抑止
- ⑥システム再確認による情報セキュリティの底上げ
- ⑦従業員に対するコンプライアンスの啓発
- ⑧退職プロセスの見直し

3. 社内処分について

対 象 者	処分内容
株式会社リロ・ホールディング 専務取締役 門田 康	月例報酬の10%返上を3ヶ月
株式会社リロケーション・ジャパン 代表取締役社長 岩尾 英志	月例報酬の10%返上を3ヶ月
株式会社リロケーション・ジャパン 執行役員 渡辺 洋一	月例報酬の5%返上を3ヶ月

現時点では、情報流出による二次被害の発生は確認されておりませんが、お客様をはじめ関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを改めましてお詫び申し上げます。引き続き、弊社グループとして最善の対策を実施してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

以 上

本件に関するお客様からのお問い合わせ先
お問い合わせ専用ダイヤル 0120-11-3718
受付時間（月曜～金曜）：午前9時～午後5時30分
受付時間（土・日・祝日）：午前9時～午後5時30分
※年末年始の期間（12/28～1/3）を除きます。